

平成21年 5月 1日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2010

課題番号：18500469

研究課題名（和文） 身体に関する自己概念の発達

研究課題名（英文） Development of physical self-concept

研究代表者

蓑内 豊（MINOUCHI YUTAKA）

北星学園大学・文学部・教授

研究者番号：50239331

研究分野：総合領域

科研費の分科・細目：健康・スポーツ科学

キーワード：身体，自己概念，自尊感情，発達，変化

1. 研究計画の概要

本研究では、こころの健全な発達を促す身体活動の意義やあり方について、自尊感情や自己概念（主に身体的自己概念）の観点からとらえようとするものである。具体的には、自尊感情の発達や自己概念の変化において、どのようなメカニズムで身体に関する自己概念が影響するのか、そして、どのような身体活動や体験が変容のメカニズムに影響するものかについて考察することを目的としている。

2. 研究の進捗状況

- (1) 小学生を対象とした通学合宿を開催し、その期間中の前後、および、合宿終了1ヵ月後にも自尊感情、自己概念のテストを実施し、それらの変化を測定した。これについては、複数年継続的に実施している。
- (2) 長期キャンプに参加した小・中学生を対象として、長期キャンプ期間中、および、合宿終了1ヵ月後にも自尊感情、自己概念のテストを実施し、それらの変化を測定した。
- (3) 高齢者運動教室参加者の自尊感情、自己概念、体力テストを実施し、これらの関係について分析した。
- (4) キャンプ指導者を対象として、キャンプ前後、および、合宿終了1ヵ月後にも自尊感情、自己概念のテストを実施し、それらの変化を測定した。また、インタビューから、自己概念や自尊感情の変化に影響する要因を整理し、変容プロセスをモデル化した。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に研究を進めることが出来ている。ただし、調査したものの、論文や学会発表といった形で公表できていないものもあるので、今後、論文等にまとめて公表したい。

4. 今後の研究の推進方策

研究計画最終年度となる本年度では、専断的にスポーツに取り組んでいる人（スポーツ選手）を対象として、自尊感情や自己概念の変容に関係する要因について、追跡的に探りたい。

また、使用する尺度についても、適切なものになっているのか、改めて検討したい。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計3件）

蓑内豊・星野宏司，高齢者運動教室参加者の体力・身体的自己概念・自尊感情の関係，北海道体育学研究，第41巻，1-8，2006，査読有。

蓑内豊，通学合宿への取組み - 大谷地東チャレンジ合宿 - ，北星論集（北星学園大学文学部），第44巻1号，153-161，2006，査読無。

蓑内豊，自尊感情・身体的自己概念の変容に影響する要因 - 長期キャンプ指導者としての体験から - ，北星論集（北星学

園大学文学部)第45巻2号,33-40,2008,
査読無.

〔学会発表〕(計3件)

袁内豊,子どもの身体に関する自己概念
について 子どもの身体的自己概念尺度
の試作,第4回スポーツ動機づけ研究
会,2006.

袁内豊,身体的自己概念・自尊感情の変
容とその要因について 子ども長期キャ
ンプ参加者の調査から,第5回スポ
ーツ動機づけ研究会,2007.

袁内豊,自尊感情,身体的自己概念の変
容に影響する要因 長期キャンプ指導者
としての体験から,第5回スポーツ動
機づけ研究会,2008.

〔図書〕(計1件)

袁内豊,運動・スポーツとこころの健康,
「基礎から学ぶスポーツ心理学増補改訂
版」,袁内豊・竹田唯史,吉田聡美著,
167-174,2009.

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

取得状況(計0件)

〔その他〕